

ジュルチャーニ首相発麻生総理宛メッセージ

日本国内閣総理大臣 麻生太郎 閣下

このたび、ハンガリー共和国政府ならびに私の名において、オーストリア・ハンガリー二重君主国と日本国の外交関係開設140周年、および、ハンガリーと日本の外交関係再開50周年にあたり、閣下、日本政府ならびに日本国民に対して、ご挨拶を申し上げます。

秋篠宮殿下におかれましては、交流年名誉総裁をお引き受けいただき、また、今年5月頃には妃殿下とともにハンガリーをご訪問いただけることは、この上ないよろこびです。交流年総裁であるハンガリー共和国大統領ショーヨム・ラースローは、今年秋に、閣下の素晴らしい国を訪問いたします。

ハンガリー国民にとって日本は、まずもって、優美な生け花、芸術的な折り紙、あるいは柔道といった日本の伝統を通じて親しんでおりますが、同時に、現代日本の先端技術にも日常生活の中で日々触れております。芸術のみならず、ノーベル賞受賞者の頻出をあげるまでもなく、学術の分野で貴国があげた卓越した成果は誇るべきものであります。

両国民に共通するアジア起源の意識が、我が国民にとって自然な好意と関心を、日本国民と文化に向けさせているものと思います。とりわけ音楽は、言葉の壁をのりこえて互いの文化に接するための媒介手段として役立っております。また、日本文化発信ボランティアが2009年から新たにハンガリーに派遣されることは望外の喜びであり、ボランティアの活動には多くの期待が寄せられています。

本年は、両国の開花した関係をさらに親密なものとする絶好の機会であります。展覧会、シンポジウム、コンサートなどは、ハンガリーの多様な側面を日本の皆様に知っていただく素晴らしい機会になります。交流年の諸事業が、今後も末長く両国関係を豊かにしていくことを願ってやみません。

ハンガリーで催される企画においては、ドナウ川に架かるエリザベート橋のライトアップがもっとも傑出したものであります。これは、両国友好を反映した共同事業の成果として2009年を長く記憶に刻むことになるでしょう。

最後に、閣下ならびに日本政府、さらには日本国民、そして交流年事業にかかわるすべての方々にとって、新年がすばらしい年となることをお祈りいたします。

2009年1月1日

ハンガリー共和国首相
ジュルチャーニ・フェレンツ

※このメッセージは、ハンガリー語オリジナルメッセージの仮訳です。